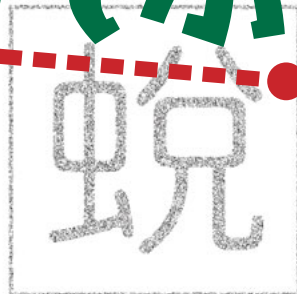


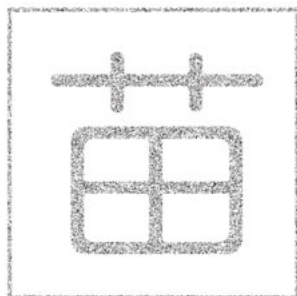
と本を学ぶ

を本を学ぶ

漢字



太田千秋



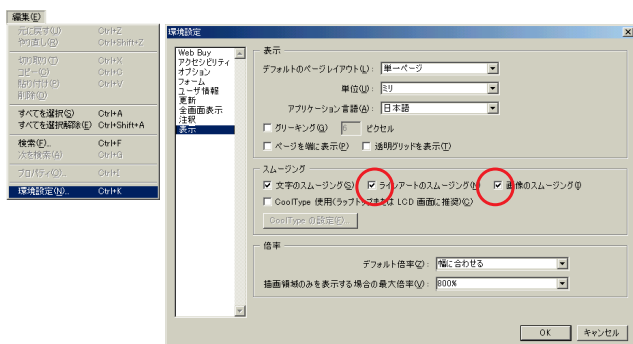
『Boon-gate』のPDF作品を ご覧いただく前に…

操作について

- 作品の多くは「もくじ」のページで、進みたいページの項目を押せば、そのページまでジャンプし、また、ジャンプしたページのタイトルを押せば、目次のページに戻るように設定しております。
- 直前に開いていたページに戻るには、画面上の「◀」ボタンで、直前に開いていたページに戻ります。

設定について

- 『Boon-gate』の作品は「Acrobat Reader 5.0」でご覧になることをお勧めします。「編集」-「環境設定」-「表示」-「スムージング」内の「ラインアートのスムージング」と「画像のスムージング」の項目にチェックが入っていない場合はチェックを入れてください（下図）。図表などがきれいに表示されるようになります。



http://www.bungeisha.com/PDF_is/05-top1.html でPDF作品についての説明を致しております。ご参照ください。

次

収

蛻

父

漢字とあそぶ漢字をあそぶ

太田千秋

文芸社

竹

魚

身?

苗

目次

第一部 漢字を楽しむ

その一	漢字って不思議でおもしろい	8
その二	友について考える	15
その三	これも象形文字	24
その四	つづけて羊を	29
その五	人民について考える	35
その六	女がおもしろい	46
その七	雰囲気を変えて	53
その八	ちよつとありきたりですが女偏を	59
その九	男について考える	80

その十	尻について考える	82
その十一	尻から頭にもどる	88
その十二	鼻について考える	108
その十三	体について考える	116
その十四	中休み	121
その十五	鳥について考える	123
その十六	虫について考える	132
その十七	再び男について考える	142
その十八	再び心について考える	149
その十九	東西南北について考える	164
その二十	部首について考える	178
その二十一	葉について	201
その二十二	少について	206
その二十三	且の字を少々	210
その二十四	国字について	216

第二部 何でもアリヤ

植物編

..... 226

動物編

..... 231

その他、ナンデモ

..... 237

参考文献

..... 245

あとがき

..... 246

第一部 漢字を楽しむ

その一

漢字って不思議でおもしろい

生

セイ ショウ

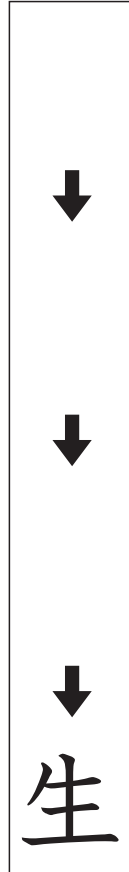
いきる うまれる うむ おう はえる きなま

なにげなく漢字辞典を開いて、この「生」という漢字が象形文字だということを知り、驚きに近い感動を覚えた。

小学校で習った象形文字は「山」や「川」のように、その姿・形がはっきりしており、分かります。自分でも漢字はつくれそうだった。ところが、人の気持ちなどのように目で見ることでできないものを漢字にしなさいと言われたら、私は間違いなく頭を抱えてしまったであろう。

象形文字とはご存じの通り、物の形やその姿からかたどってつくった文字のことで、漢字の基礎となったものである。実際、目に見えるものの特徴をうまくとらえて文字にしていた。「絵文字」といってよいだろう。

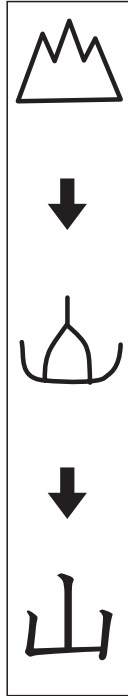
さて、さきほどの「生」という漢字はどのような姿・形からできあがったものなのだろうか。



小学校の頃を思い浮かべ、漢字の基礎となった象形文字をおさらいをしてみる。

代表的な象形文字といえば、先にあげた、「山」、「川」や「木」、「月」など。そしてその基となった絵（姿・形）も思い浮かべることができる。

例えば「山」は、

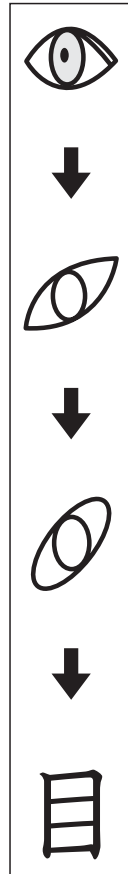


高くとんがった峰のある山の姿を書いたものである。黒板に描かれた絵を見て、「山」という字に納得した。校舎から見える函館山などその時は思い浮かべることがなかった。素直に理解をし、漢字の成り立ちに驚き惹きつけられていった。

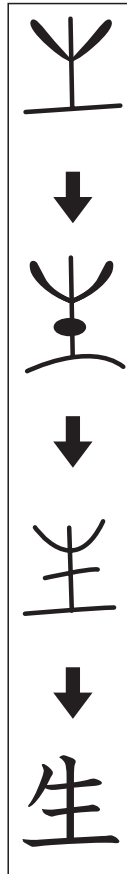


実に分かりやすい文字である。川の姿は色々あるけれど、その成り立ちにまったく違和感を感じない。日本や中国のような漢字文化圏でなくとも、西欧の人にも絵を描いて理解してもらえるはずである。なんとスバラシイ。

「目」という漢字は、



さて、さぎほどの「生」の文字にもどることにする。



土の中から出てきた草や木が、しだいに芽を出し、伸び出ていく姿を文字にしたものだ。今まで何もなかったところから、草が芽を出していくところから「生うまれる」「いのち」「生いきる」に関係した文字がつけられていったのである。

昔の人たちにとって草や木が芽を出し、伸びゆくことはなんとも不思議なことで、感動的なことであったに違いない。草木を目の前にして、腰をおろし、毎日毎日ながめていたことだろう。芽が出て、花が咲くことに、とてつもない神秘を感じていたに違いない。

祝い事を言い表わす言葉で「おめでたい」「おめでとう」がある。漢字を使って書き表わすと「おめでたい」とか「お芽出度う」となる。やはり、芽を出すこと、花が咲くことは「おめでたい」となるのであろう。

この漢字を含んだ文字はその他に、

性

セイ ショウ
さが たち

性質 性格 性別

生まれつき持つている心や性質というのが、本来的な意味である。「りっしんべん性」は、人の心や気持ちに関係した文字をつくる。

産

サン
うむ うまれる うぶ

出産 生産 財産

甦

ソ
よみがえる

甦生

○甦生 よみがえること。息をふき返すこと。立ち直ること。
「更に生きる」ということだろう。

これらの漢字にはしっかりと「生」という意味が入っている。

話題をかえる。

「草木が芽を出す」季節といえば「春」。そこで「春」の文字をみる。

春

シユン
はる

新春 思春期 早春

途中省略

本編はダウンロード時間短縮のため省略版でお届けしています。
途中省略なしの完全版をご希望の方は製品版をご「購読」ください。

著者プロフィール

太田 千秋 (おおた ちあき)

函館市出身

現在、函館稜北高等学校勤務

漢字とあそぶ 漢字をあそぶ

2003年 7 月15日 電子出版発行

著 者 太田 千秋

発 行 者 瓜谷 綱延

発 行 所 株式会社文芸社

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-10-1

電話 03-5369-3060 (編集)

03-5369-2299 (販売)

<http://www.boon-gate.com>

© Chiaki Ota 2003 Corded in Japan

ISBN4-8355-5835-9 C0081

(文芸社発行の通常書籍 (紙の本) については、全国書店でお尋ねいただくか、「文芸社ON-LINE」
サイト、<http://www.bungeisha.co.jp> を御参照ください。)